

# 第3期 pES club step4 大会薬学生シナリオ

平成16年10月16日

丹羽病院 薬局

小西 麻紀

koni.maki@nifty.ne.jp

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

http://spell.umin.jp

sulzbürger@amy.hi-ho.ne.jp

あなたは門前薬局に勤める薬剤師です。ここ半年ほど偏頭痛で通院して、処方箋を持ってくる井伊馬子さん(22歳)がいつもと同じ内容の処方箋と一緒に、今日はお祖父さん(井伊祖父郎, 84歳)の処方箋を持ってきました。馬子さんはあなたに対して信頼感を抱いており、最近では病院では聞けなかったことでも気軽に相談してくれるようになりました。

	井伊祖父郎・84歳			脳外科
処方	デカドロン	8T	2×	
	アタラックス P(25)	2C	2×	
	ベイスン(0.2)	3T	3×	14日分
屯	カロナル(200)	2T	頭痛時	7回分

馬子さん「おじいちゃん、2週間ほど入院していて先週退院したんです。今日受診したら、『ベイスンという糖尿病の薬が増えますよ』って言われたんです。入院して薬を飲み始めてから、食欲がなくなってあまり食べれないのに、糖尿病になっちゃうんですか？それと、この中に血圧が高くなる薬はありますか？」

あなた「ええと・・・、祖父郎さんの薬歴はないですね、祖父郎さんは初めて薬を飲み始めるのでしょうか？」

馬子さん「今まで飲んでいた薬はありません。全部この入院から始まった薬です。若いころに結核で入院してたみたいだけど、病院に行くのも久しぶりだし、この間だって、めまいがするからといって病院にかかっただけなのに入院になっちゃって、おまけに『脳腫瘍があるから、もっと検査しましょう』なんて言われて・・・(沈黙)。本当にこんな薬を飲まなくちゃいけないんでしょうか・・・」

なんだか、馬子さんは心配事がありそうな面持ちです。

調剤が終わって、デカドロンとベイスンについて、馬子さんに説明することになりました。